

水道情報活用システム導入支援事業（足利市上下水道部）

- 令和7年6月から「足利市My水アプリ」による検針を本格稼働する。参加希望の市民に、アプリでのOCR読み取り機能により検針していただくことで、市民参加型検針を推進するものである。
- 当該事業を通じて、検針業務の安定的な継続が図られるほか、検針票に代わる使用水量や使用料がWEBで検索できるシステムも導入する。

事業概要

- ・ 事業期間：令和5年～令和7年
- ・ 実施個所：足利市
- ・ 事業概要：水道検針アプリの開発業務

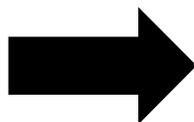


導入により目指す業務効率化

- ・ 検針員の高齢化や人手不足、労働人口の減少などから安定した検針業務が困難になることが想定される。「足利市My水アプリ」を利用することで、今後の検針員不足を補いつつ、移動の省力化や効率化により、安定した未来に向けた持続可能で安定した検針業務の継続が図られる。
- ・ 市民参加型として開発を行ったが、検針員の検針手段の一つとして活用することも可能であり、検針時間の短縮が図られ業務効率化に寄与する。

現在

- ・ 検針員28名
- ・ 平均年齢61歳
- ・ 半数が65歳以上

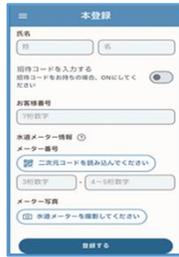


未来

- ・ 検針員が減少
- ・ 減少分を市民の方が担う

具体的な連携の内容

- ・ 2か月に1度行っている検針を開発したアプリで市民の方に自身の水道メーターの指針を撮影しOCR機能を利用しメーター値をデジタル化して、データセンターへ送信。
- ・ 市民の方にアプリで検針いただいた場合、水道料金の減免等のインセンティブ。



データの利活用・付加効果

- 水道使用量、水道料金等履歴の「見える化」のポータルサイトを構築
- ・令和7年3月を目標に、利用者がWEB上で確認できる仕組みを構築。
- ・前回検針（2か月前）との使用量の乖離が大きい場合、漏水疑いの注意喚起をプッシュ通知等でお知らせ。（検針アプリ利用者、WEB登録者への無料サービス）
- ペーパーレス化、キャッシュレス化の促進
- ・検針票は段階的に廃止する予定。（紙代年間約80万円）
- ・納付書廃止を検討。スマートフォン上で水道料金の支払いができる仕組みを今後構築。
- ・利用者の2割が納付書払い。作成委託料は年間約240万円。
- ・郵送料は、年間約930万円（11万通×ハガキ郵送料）
- ※2024.10～¥63→¥85
- ・検針票、納付書郵送希望者は「有料化」を検討
- 水道への関心やデジタル環境の推進
- ・市民参加型のため、今まで以上に自身の使用水量や水道料金に関心を持ち、水の大切さや節水意識の向上及び漏水の早期発見に繋がる。
- ・デジタル社会に適応できるきっかけの一つとなり、デジタル技術の向上や意識の醸成促進に寄与。

問合せ先

足利市上下水道部企業経営課
TEL:0284-22-7916 / Email: ryoukin@city.ashikaga.lg.jp